

トピックス

■ 製品紹介 (PDH-752)

この製品は、主に半導体製造装置用として、-20℃～150℃の広い範囲で調温された特殊な液体を循環するために使われます。この厳しい条件で、動作の確実性が求められ、内部の構造や材質に工夫を凝らすことで、信頼性を確保しております。



また、半導体製造装置では、より高いスペース効率が要求され、製品の小型化が重要になってきます。当社はキャンドポンプという、モータの中にポンプを入り込ませた構造により、従来ポンプの約1/2のサイズを実現しています。

会社概況

(2020年3月31日現在)

商号 三相電機株式会社
設立 1957年(昭和32年)10月11日
資本金 878,679,800円
従業員数 602名(連結)
事業内容 小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

株式の状況

(2020年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	18,000,000株
発行済株式の総数	4,589,800株
株主数	663名
1単元の株式の数	100株

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (0120)782-031
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
<http://www.sanso-elec.co.jp/ir/koukoku/>
上場証券取引所 東京証券取引所

三相電機株式会社
〒671-2288 兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
TEL(079)266-1200 FAX(079)266-1206
URL <http://www.sanso-elec.co.jp/>

株主のみなさまへ

第63期

株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日



代表取締役社長 黒田直樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の営業の概況につきましてご報告申し上げます。
今後とも変わらないご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2020年6月

 三相電機株式会社

証券コード 6518

営業の概況

業績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響による中国経済の減速や、イギリスのEU離脱、中東情勢など、世界経済の先行きに対する不透明感を背景に、企業収益は低迷いたしました。

そうした中、年度後半に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、内外需要の減少や中国を起点とする部品供給網が寸断されるなど、経営環境は大きく変化し、景況感は大幅に悪化いたしました。

当社グループにおきましては、米中貿易摩擦や輸出制限などの政策が半導体業界の大きなリスク要因でありましたが、世界的なIT需要の底入れを受けて、半導体需要に回復の兆しが見え始めており、半導体製造装置用ポンプの受注は回復傾向にあります。

一方、産業機械用モータでは、製造業の能力増強投資や人手不足を背景とした省力化・合理化に向けた投資マインドは底堅く推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の冷え込みが懸念され、設備投資意欲も低調に推移いたしました。

中国市場におきましては、空調用モータの受注が堅調に推移するとともに、付加価値の高いポンプの受注拡大に努めてまいりました。一方、価格競争は依然として厳しい状態が続いており、引き続き利益確保に向けて、新規顧客や新市場開拓を進めております。

このような環境の中、生産性向上や原価低減の推進に取り組んでまいりましたが、受注減少の影響を受け、当連結会計年度の売上高は137億19百万

円（前期比86.8%）、営業利益は2億45百万円（同28.6%）、経常利益は2億82百万円（同31.7%）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は1億72百万円（同26.3%）となりました。

今後の取り組み

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって、甚大な影響を受けるであろうことは予想されますが、その内容や程度、期間などについては全く見通すことができません。

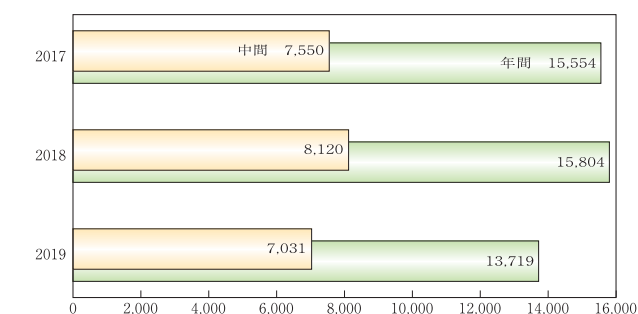
当社グループにおけるポンプの受注に影響を及ぼす半導体業界につきましては、各企業が新型コロナウイルスの感染予防対策として、在宅勤務やリモートワークの導入を加速させており、データセンターなどのインフラ需要が急速に高まるとともに、自動車や第5世代通信（5G）などへの半導体需要が拡大するものと思われれます。そのため、半導体製造装置用ポンプの受注は、ある程度の増加が見込まれます。一方、産業機械向けモータは新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明なため、企業の設備投資意欲は低調に推移するものと見込まれます。

このような環境の中で当社グループといたしましては、受注の急激な変動に対応するため、サプライチェーンの見直しおよび生産体制の柔軟性向上に努めるとともに、環境に適合したエコロジー技術の習得と製品化の取り組みを進めてまいります。更にユニット製品の市場拡大に注力し、顧客満足度の高いサービスを提供していくことに最善を尽くしてまいります。

連結業績の概要

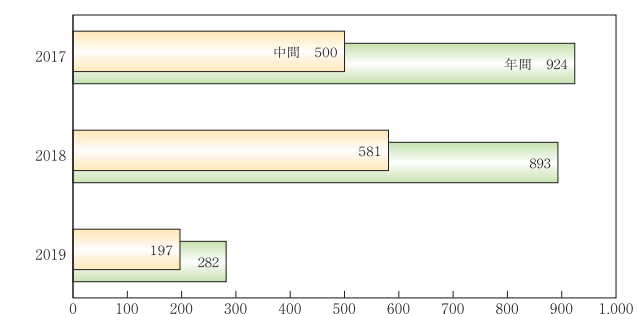
売上高

(単位：百万円)



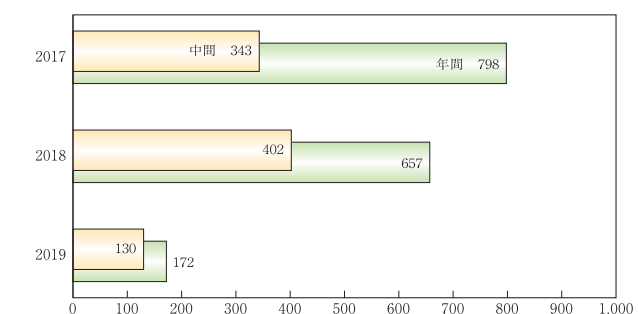
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	(2020年3月31日現在)
資産の部	
流動資産	8,820
固定資産	6,602
有形固定資産	4,957
無形固定資産	98
投資その他の資産	1,546
資産合計	15,422
負債の部	
流動負債	4,328
固定負債	2,261
負債合計	6,590
純資産の部	
株主資本	8,808
資本金	878
資本剰余金	1,832
利益剰余金	6,176
自己株式	△79
その他の包括利益累計額	23
純資産合計	8,831
負債純資産合計	15,422

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	13,719
売上原価	11,141
売上総利益	2,577
販売費及び一般管理費	2,332
営業利益	245
営業外収益	79
営業外費用	42
経常利益	282
特別利益	—
特別損失	9
税金等調整前当期純利益	272
法人税、住民税及び事業税	95
法人税等調整額	4
親会社株主に帰属する当期純利益	172